[プレスリリース]　　2026 年 11 月 16 日

スーパー耐久シリーズ 2026 第 7 戦 S 耐 FINAL 大感謝祭
悪天候により決勝レースは中止となるも 95 号車 SPOON リジカラ CIVIC はシリーズ 2 位





11 月 14 日(土)～15 日(日)、静岡県の富士スピードウェイ(4.563km)でENEOSスーパー耐久シリーズ 2026 Empowered by BRIDGESTONE 第 7 戦 S 耐 FINAL 大感謝祭が開催され、95 号車「SPOON リジカラ CIVIC」(小松一臣/小出峻/三井優介)は、ST-2 クラス予選 5 位のポジションで決勝スタートを迎えました。しかし、朝からの強い降雨によって決勝はセーフティカー(SC)先導でスタートするも 3 周目に赤旗が提示されて中断、その後決勝レース中止の決定が下されました。

最終戦となる第 7 戦は、スキップされるクラスがない全 11 クラス 68 台が 14 日に予選、15 日に4時間の決勝レースというスケジュールで開催されました。95 号車「SPOON リジカラ CIVIC」は第 6 戦の岡山で今季初のリタイヤを喫してしまったため、自力でのチャンピオンシップ獲得の可能性は失ってしまいましたが、第 6 戦終了時点でシリーズ 2 位のポジションをキープしています。これは 2024 年からの ST-2 クラス参戦中最上位であり、チームとしてはこのポジションの維持を最低限としつつ、全力で最終戦に臨み、チェッカーを受けるまでシリーズチャンピオン獲得に挑み続ける事が最終目標となります。搭載するサクセスウェイトは最終戦のみ 2/3 に軽減されるため規定の最大量ながら 45kg です。14 日の公式予選時の天候は曇り、予選スタート時点では気温 16 度、路面温度 19 度、路面はドライでした。結果、A ドライバー小松がクラス 4 番手、B ドライバーの小出はクラス 3 番手を記録、合算タイムでクラス 5 位からのスタートとなりました。

15 日の決勝は天気予報とおり朝から雨が降り続き、前戦に続いてウェットレース宣言が掲示されました。スタート時刻の 12 時 30 分では気温、路面温度とも 13 度ながらヘビーウェット路面のため SC 先導によるスタートとなりました。しかし、SC ラップ 2 周終了後に赤旗が掲示され全車がピットへと戻った後、天候回復の見込みがないとの判断により第 7 戦決勝レースの中止が決定されました。この結果、シリーズポイントは 72 号車 OHLINS CIVIC NATS と同率の 96 ポイントで並びましたが、優勝回数の多さで SPOON リジカラ CIVIC のシリーズ 2 位が確定しました。

小松一臣コメント

「実際コースインした時からもう雨量がすごく、これでレースできるのかなって思っていました。もう第 1 コーナーを回って下っていったらまっすぐ走れないですから。一年を振り返って、やっと最後にチームに馴染めてきたし、タイム的にも馴染めてきたかなとは思ってはいます。また、クルマとはだいぶ仲良しになったかなと。FF はやっぱり、タイミングが FR と異なるので少しアクセルを強く踏んだら、もうすぐプッシュアンダーが出ちゃうんで、パワーある FF 車というのは扱いさが難しかったのは事実ですね。ドライバーとしては、若手の二人に教わるところが多いのですが、いつかは二人に勝つつもりでやります(笑)」

小出峻コメント
「今年のチームについては、僕らが持っているポテンシャルは相当高いものがあったと思います。とはいえ、トラブルなどでそれが発揮しきれなかったのが悔しいですね。来年チャンピオンを狙うには、そういったところを改善して安定して力が出せるようにしないといけません。開幕二勝して手応えは十分あっただけに、その弱点を改善するためにしっかり準備して、来年は何がなんでもチャンピオンを取りたいですね」

三井優介コメント
「一年ぶりにチームに復帰させてもらうことができてとても嬉しいですし、楽しくレースさせていただきました。離れている間にクルマがすごく成長していたというのを感じています。しかし、それでも周りに比べるとまだ足りていない部分があるのは確かです。シーズン途中で車両側だったり、チーム戦略やドライビングでも少しミスがあったので、それらをパーフェクトにこなさないとチャンピオンは取れないものなのだということを実感しました。これら全てでもう一段階精度をあげて、チャンピオンを目指します」

原剛チーム監督コメント
「一年を振り返れば、開幕戦もてぎ、第 2 戦鈴鹿と連勝して、今年のスタートは良い感じだと思いましたけど、続く富士 24 時間で不運があったりして、徐々に流れが下がっていったところがあります。だからこの最終戦には、少しではありますが望みをかけてチャレンジするつもりでした。赤旗終了っていう結果は残念ではありますけども、一応シリーズ二位の結果で終われたのは、毎年成長はできている証になったかと思います。来年はさらにレベルアップしないといけないので、それに向けてチャレンジしていきます」

チーム代表　甲斐琢也コメント
「最終戦は悪天候により、私たちが準備してきたものを十分に発揮できないまま終えることとなり、非常に残念に思っています。今シーズンは鈴鹿での優勝をはじめ、チームとして確かな速さと成長を感じることができた一方、トラブルや判断の難しさなど、耐久レースの厳しさを改めて思い知らされた一年でもありました。年間ランキング 2 位という結果は、チーム全員の努力の積み重ねによるものですが、私たちが目指していたのはもちろんチャンピオンです。悔しさはありますが、今年得られた経験と課題をしっかりと次につなげていきたいと思います。一年間戦い抜いてくれたドライバー、メカニック、チームスタッフ、そして私たちの挑戦を支えてくださったスポンサーの皆さま、応援してくださったファンの皆さまに心から感謝いたします。TEAM SPOON はこれからも挑戦を続けます。来シーズンも応援よろしくお願いいたします」

2027 年も「SPOON リジカラ CIVIC」はスーパー耐久シリーズに参戦予定。開幕戦は 3 月 27 日～28 日にモビリティリゾートもてぎで開催予定です。